

第6回アゼオトギリ保全勉強会を開催

- 三重県では絶滅したとされていた「アゼオトギリ（オトギリソウ科の多年草）」は、平成25年度の河川環境調査において、櫛田川水系で48年ぶりに発見されました。保全勉強会は、この貴重種を保全するため、平成26年度から活動を行っています。
- 今回の勉強会では、平成29年度の保全活動の進め方の報告のほか、勉強会に参加している団体からアゼオトギリの生育状況の報告がされ、意見交換を行いました。
- 会議後は、地域住民の方々が多気町内にある移植地への移植作業を行いました。

- ◆日時：平成29年6月17日(土) 13:00～16:00
- ◆場所：会議【多気町民文化会館（多気町相可1587-1）】、移植作業【多気町内移植地】
- ◆主催：アゼオトギリ保全勉強会（事務局：多気町、国土交通省三重河川国道事務所）
- ◆参加機関：三重大学教育学部、福井県立大学、三重県立相可高等学校、三重県立久居農林高等学校、福井県立坂井高等学校、兄国水と緑を守り隊、西池上やまびこ会、べこじ倶楽部、仁田環境保全会、佐奈川を美しくする会、三重県農林水産部、多気町、三重河川国道事務所 他 総勢 約50名



アゼオトギリ保全勉強会の状況（多気町民文化会館）



地域の方々によるアゼオトギリの移植状況（多気町内）